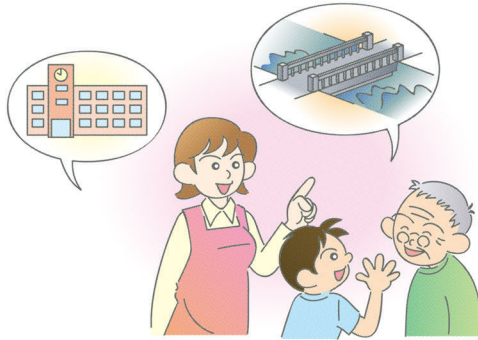


日ごろからの準備と心得

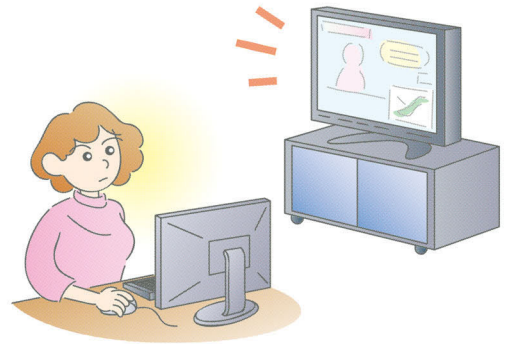
● 避難所や避難経路を確認しましょう

表面の浸水想定区域図には、洪水時に避難する避難所等が表示されています。普段から自分の地区の避難所等はどこなのか、そこへ安全に行くためにはどう行けばいいのかを確認しておきましょう。



● 天気予報や気象情報に気をつけましょう

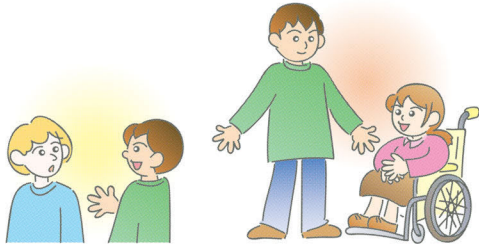
梅雨の時期や台風シーズンなど、洪水がおこりやすい時期には、テレビ・ラジオ・新聞・インターネットなどで天気予報に注意し、天気の移り変わりに気をつけましょう。



● 普段から災害時要援護者に 気配りをしましょう

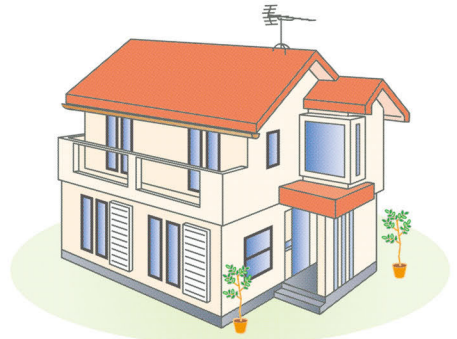
自分の家族や住まいだけでなく、地域全体にも目を向けましょう。特に一人暮らしの高齢者や障がいをお持ちの方には気配りが必要です。

いざというときに速やかに避難できるよう、普段から話し合っておきましょう。



● 家のまわりを点検・整備しておきましょう

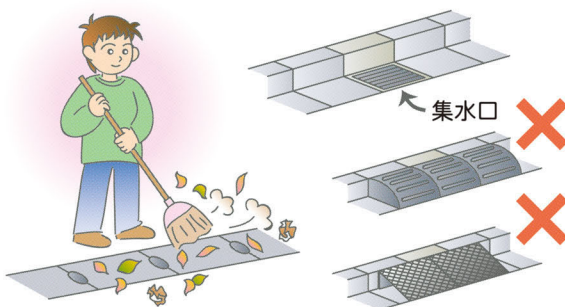
家のまわりに吹き飛ばされそうなものはないか、雨戸・雨どい・アンテナ・車庫の屋根などが傷んでいないか、しっかり固定されているかを確認しておきましょう。



● 道路の側溝や集水口の点検を しておきましょう

側溝や集水口の上に、車乗り入れブロックなど物を置かないよう、皆さんのご協力をお願いします。

また、側溝や集水口が落ち葉やごみで詰まると道路冠水の原因になります。普段から側溝や集水口の清掃にご協力ください。



● 土のうや排水ポンプを 準備しておきましょう

いざというときに慌てないために、事前に土のうなどを準備しましょう。半地下構造のお宅では排水ポンプを準備しておきましょう。

